

平成21年度第3回  
公立大学法人公立はこだて未来大学経営審議会議事録

- 1 日 時 平成22年2月10日(水) 14:30~15:40
- 2 場 所 公立はこだて未来大学4階特別応接室
- 3 出席者  
委 員:(学内委員) 中島理事長(議長), 岩田副理事長, 小西理事, 西濱理事,  
益田理事  
(学外委員) 市川委員, 川島委員, 佐藤委員, 原委員, 山崎委員  
監 事: 鎌田監事  
事務局: 川嶋経営企画室長, 鶴喰企画総務課長, 和久井財務・研究支援課長,  
松塚教務課長

4 議事

(1) 審議事項

- ① 平成21年度補正予算(案)について
- ・事務局から平成21年度補正予算(案)について説明があり, 予算の剰余金に関する質疑ののち, 原案どおり了承された。
- ② 平成22年度予算(案)について
- ・事務局から, 平成21年度予算(案)について説明があった。

各委員

- ・平成21年度予算と比較し, 運営費交付金が減額となっているがどのような理由によるものか。
- ・授業料が減免されている学生の割合はどの程度か。
- ・留学生の受入れに当たり, 予算措置はなされているか。
- ・収入確保の方策の一つとしてクレジットカード会社との提携を行っている大学があるが, 本学においても導入を検討してはどうか。

理事長・理事

- ・本法人が予算要求を行い, 法人の設立団体である函館圏公立大学広域連合および広域連合の主体となる函館市がこれに対する査定を行った結果として運営費交付金の額が決定されているが, 函館市の財政状況が相当厳しい状況にあること等から平成22年度の運営費交付金は前年と比較し4%の減額となっているものである。なお, 運営費交付金の額の決定方法および予算の剰余金の取扱いについては, 明確なルール作りが必要と考えており, 今後広域連合との間で協議をしていく。
- ・留学生の受入れは大学として推進していきたいところではあるが, 平

成22年度予算としては措置されていない。

- ・ クレジットカード会社との連携については、可能性を検討したい。

#### 事務局

- ・ 現在約100名、割合としては8～9%の学生に対し授業料の減免を行っている。

#### 各委員

- ・ 授業料の減免を行っている学生の数は他大学と比較して多いように思われるので、このことは大学の強みとしてアピールして良いことである。
- ・ 留学生の受入れは大学としてぜひ推進すべきことであり、例えば目的積立金や寄付金による基金を創設し留学生の支援に充てることや地域の大学と共同で寮を設置すること等も検討する必要があると思う。

以上の議論ののち、原案どおり了承された。